

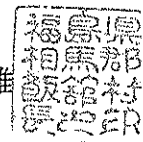


19飯産第178号

平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

福島県相馬郡飯館村長 菅野 典雄



### 中期的な計画等に対する意見について(回答)

平成19年4月2日付国道企第114号で依頼ありました標記の件について、  
下記のとおり回答いたします。

#### 記

#### 1. 道路の特性について

- ① 「道路は地域の命」という考え方について、国民のコンセンサスを得られるように、プロの企画によるPR活動等を実施すべきではないでしょうか。
- ② 道路は縦と横とのつながり、切れ目がしっかり結ばれてその特性が生かされるものと考えます。そのため、整備が長期的な計画になっても国民に納得していただく努力が必要ではないでしょうか。

#### 2. 道づくりの手法等について

- ① これまでの固定的な観念や常識的な考え方を一掃し、柔軟な考え方をすすめる時代になっているのではないのでしょうか。
- ② 道づくりの目的を「より早く」という発想のみではなく、外国では既にある「ゆっくり、ゆったり、癒し」といった観点を取り入れるべきではないのでしょうか。それにより低コストの道路づくりが可能となるものと考え

えます。また、地方道路のロータリー交差点化を進めてはいかがでしょうか。建設経費の節減ばかりではなく、交通モラル向上につながるものと思われます。

③ 国は県と共に国道をつくるという視点のみではなく、市町村を共につくるという考え方や手法をもっと取り入れるべきではないでしょうか。

④ 高速道路には色彩的な感覚を取り入れてみてはいかがでしょうか。

また、人と結びつける考え方はどうでしょうか。

以上